

茅ヶ崎市保健所管内感染症情報

令和8年第32週（令和8年8月3日～令和8年8月9日）

〇水痘（みずぼうそう）の報告数が増加しています。

水痘の主な症状は、発しんが出る前の発熱から始まります。典型的な経過は、まず紅斑が現れ、次第に粘り気のある液体を含んだ水泡（水ぶくれ）へと変化し、最終的にかさぶたになって治癒します。主な感染経路は、飛沫感染及び接触感染です。感染者の咳による飛沫の吸入や、患部や汚染物への接触を介して感染が拡大します。

治療においては、かゆみを緩和する軟膏やウイルスの増殖を抑制する抗ウイルス薬が処方されます。予防には、手洗いや換気など基本的な感染症対策に加え、水痘は家庭内接触での発症率が約90%と極めて高いため、水泡に触れた後の確実な手洗いやタオルの共用を避けるなど、感染リスクの低減に努めてください。

なお、本疾患は定期予防接種の対象です。（1回目の接種を1歳過ぎに行い、それから3か月以上の期間をあけて2回目を接種します。）

〇手足口病にご注意ください。

手足口病は、感染してから3～5日後に、のどの痛みなどの症状と共に発熱します。熱は38度以下の場合が多く、高熱になることはあまりありません。

発熱から1～2日経つと、手のひら、足の裏、口の中、唇などに2～3ミリの水泡のような発疹が現れます。口の中の発疹が痛むため、食事が十分に摂れなくなることがありますが、通常は1週間から10日ほどで自然に消えていきます。多くは1週間程度で軽快しますが、ごくまれに髄膜炎や脳炎、心筋炎などの合併症を引き起こすことがあります。

感染経路は、患者の咳やくしゃみを吸い込む「飛沫感染」と、破れた水泡や便に含まれるウイルスが手を介して口や目の粘膜に入る「経口・接触感染」です。

感染力は発症してから1週間が最も強いですが、症状が治まった後も、便へのウイルスの排出は2～4週間程度続きます。

感染予防には、マスクの着用と流水と石鹸によるこまめな手洗いが重要です。タオルの共用は避けてください。なお、アルコール消毒は効果的ではありません。

【全数把握対象疾患】

	診断（第32週）（件数）	累計（令和8年第1週以降）（件数）
一類感染症		
二類感染症		結核(10)
三類感染症		
四類感染症	レジオネラ症(1)	E型肝炎(1), A型肝炎(1), オウム病(1), レジオネラ症(7)
五類感染症		侵襲性髄膜炎菌感染症(1), アメーバ赤痢(1), カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1), 侵襲性肺炎球菌感染症(3), 水痘（入院例）(1), 梅毒(5), 百日咳(7)

【定点把握対象疾患】

→休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）

	医療機関	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
小児科	A	1	1	0	0	1	12	4	9	0	0	1	0
	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C	0	1	0	0	0	2	1	12	0	0	0	0
	D	0	0	2	0	2	2	0	3	0	1	9	0
内科	E	1	1										
	F	0	1										
	G	0	0										
合計		2	4	2	0	3	16	5	24	0	1	10	0
定点当たり		0.29	0.57	0.50	0	0.75	4.00	1.25	6.00	0	0.25	2.50	0

	医療機関	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
眼科	H	0	0
	I	0	0
合計		0	0
定点当たり		0	0

茅ヶ崎市保健所管内における上位3疾患

	疾患名	今週	先週
1	手足口病	24	38
2	感染性胃腸炎	16	9
3	ヘルパンギーナ	10	16

【急性呼吸器感染症（ARI）】

	医療機関	急性呼吸器感染症
小児科	A	181
	B	43
	C	61
	D	65
内科	E	41
	F	15
	G	19
合計		425
定点当たり		60.71

茅ヶ崎市保健所保健予防課

【最近4週間の推移】

上段：報告数 下段：定点当たり報告数

	疾病名	29週	30週	31週	32週	前週比
小児科	定点医療機関数	4	4	4	4	
	RSウイルス感染症	1	1	2	2	➡
		0.25	0.25	0.50	0.50	
	咽頭結膜熱	0	1	1	0	↓
		0	0.25	0.25	0	
	A群溶結性レンサ球菌咽頭炎	7	5	2	3	↑
		1.75	1.25	0.50	0.75	
	感染性胃腸炎	14	16	9	16	↑
		3.50	4.00	2.25	4.00	
	水痘	0	3	0	5	↑
		0	0.75	0	1.25	
	手足口病	87	44	38	24	↓
		21.75	11.00	9.50	6.00	
	伝染性紅斑	0	1	0	0	➡
		0	0.25	0	0	
	突発性発しん	4	1	2	1	↓
		1.00	0.25	0.50	0.25	
	ヘルパンギーナ	13	5	16	10	↓
		3.25	1.25	4.00	2.50	
	流行性耳下腺炎	1	1	1	0	↓
		0.25	0.25	0.25	0	
眼科 定点	定点医療機関数	2	2	2	2	
	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	➡
		0	0	0	0	
	流行性角結膜炎	0	0	0	0	➡
		0	0	0	0	
内科 (ARI 定点)	定点医療機関数	7	7	7	7	
	インフルエンザ	2	2	1	2	↑
		0.29	0.29	0.14	0.29	
	新型コロナウイルス感染症	1	2	5	4	↓
		0.14	0.29	0.71	0.57	
	急性呼吸器感染症 (ARI)	487	413	378	425	↑
		69.57	59.00	54.00	60.71	

※急性呼吸器感染症 (ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※前週比は、定点当たりの報告数を基に作成しています

→休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）





